

# ポンカルダス ロマス フィリピン出身の元キリスト教徒

:

明: いキリスト教の影 下に育ったポンカルダスは、真 の に を受けます。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: ポンカルダス ロマス

日 03 Aug 2015

集日 03 Aug 2015

私は1959年の12月2日、フィリピンのカウスワガン地方北ラナオ州カウITTに生まれました。私が生まれた当 から、 は数多くあるキリスト教の一宗派であるセブンスデ アドベンチスト教会の 心な信奉者でした。私自身、セブンスデ アドベンチスト教会（以下SDA）の福音 道者でした。私は幼少の から1981年にムスリムになるまで、SDAに深く わっていました。

## 父の

私の父は、独裁者だった元大 フェルディナンド エドラリン マルコスによって されたILAGAとCHDF（民 人祖国防 ）の元メンバ でした。イロンゴ 土 取 会（ILAGA）とは、ムスリムの土地を略 し、南フィリピンのムスリム人口を させるための を施された、キリスト教徒のカルト グル プに与えられた名称でした。ILAGAのメンバ たちは透明の防 チョッキを身にまとっていると信じており、一部では彼らに 丸は当たらないと信じられています。彼らは文字通り 者の右耳を切り取り、それを いて食しました。そして食べ残しの灰をお守りとして香水の瓶に混ぜたのです。ILAGAのメンバ は、ムスリムたちを せば すほど、彼らに力が宿ると信じていました。

## 幼少 の洗

幼少、私はムスリムたちが多神教者であると吹きまわられて（洗われて）いました。私たちはムスリムが好意的で、非ムスリムの人を問わず、法で、人のあらゆる性がムスリムの教にめまれていると信じていました。私がキリスト教徒だったときは、イスラームムスリムモロスの区がつかず、それらすべては多神教の同類だと思っていました。私がムスリムについて知っていたことといえば、彼らが「多神崇の愚劣な人」だということだけでした。

## 私の

私は保守的なキリスト教徒の教育（教会学校）で育ちました。幼少の頃から日夜、私たちはバイブルをいかに素早くき、章句の意味を明するかというを受けていました。また、教で可能な限りの知的なスピーチをするも受けました。そして少年時代にセブンスデアドベンチスト教会の者としてのを数えきれないほどこなしました。私は南ダバオ州マナガの南ミンダナオ学院、南コタバト州トゥピのマトウトウムビュ学院、ジェネラルサントス市のノトルダム、南アグサン州バユガンのフォレストヒルズ学院で学んだ、ドゥマゲテ市のシリマン大学で学位を取得しました。フィリピン大学の妹校であるシリマン大学は、米国人プロテスタント信者の慈善家によって立援されました。私はスピーチ演を攻めて修士号、そしてマスコミュニケーションの准修士号を取得しました。若い、私は非正事における部司令官で、その上生徒会となり、青年のや科学ラブの部、安息日学校の督者などをめしました。

## 背景

1981年、私はパガディアン市で、特にムスリムコミュニティを象とした宣教法についてのなを受けました。それは再降派の医学のという大名分を口としたものでした。その、私たちは数のグループに分かれ、南フィリピンのザンボアンガ市における家宅の福音道活に事しました。私たちの主な目的は金のと、教を播してムスリムたちをキリスト教徒（再派信者）に改宗させることでした。在もミンダナオのムスリムコミュニティの中心には、ムスリムたちを徐々にキリスト教徒化させることを主要な目的とする

キリスト教 体が 数存在しています。

## 最初の遭遇

ある日、私はザンボアンガ市サンタ ババラ地区のアル＝マリ ン海 会社事 所に 道 として派遣されました。そこで、初めてムスリムの知 人との遭遇をしました。彼の名はナジ ブラズ ル フェルナンデスといい、彼も元セブンスデ アドベンチストの福音 道者でした。私たちは幼少期に近 に住んでいた者同士だったことが分かり、私たちの と彼の叔父の家族は 友かつ 人同士でした。

## 正式な遭遇

私はナジ ブラズ ル フェルナンデス氏に自己 介しました。彼は温かい 迎をしてくれ、私による事 所の目的を ねてきました。彼は当 、アル＝マリ ン海 会社事 所の でした。彼はこう いてきました。「あなたはセブンスデ アドベンチストでしょう？」

「はい、そうです。」

「あなたはイエス キリストを信じていますか？」

「もちろんです！ 私たちはイエス キリストを信じ、 わなければセブンスデ アドベンチストではありませんから。」

彼は けました。「あなたの宗教はセブンスデ アドベンチストですが、イエス キリスト自身もセブンスデ アドベンチストだったのですか？」

私がもしも「はい」と答えていれば、その次の が「あなたのバイブルからイエス キリストがセブンスデ アドベンチストだったという を せてもらえないですか？」となることは分かっていたいました。バイブルにはイエス キリストがアドベンチストだったという 明文がないのは知っていました。私は人生でそのような を受けたことが一切なく、 を受けました。私は を して を えることに必死でした。彼は私の目をまっすぐ 据えて を り

返すと、こう言いました。「その に答えることができないのなら、あなたのチ ムリ ダにその を示し、彼の返答を教えてください。」

## 的な事

それから彼は、イエス キリスト（神の慈悲と祝福あれ）の真の名前と人生について りました。彼の名はムスリム世界においてはイ サ アル=マスイ フ イブン マルヤムだと言うのです。イエスは 言者であり、神の使徒だと言います。そしてムスリムの宗教とア ッラ の 言者たちの宗教はイスラ ムだと述べました。さらに、アッラ （神）の 言者たちは皆ムスリムだったと主 しました。彼はまた、イスラ ムが 活の日、 判の日、 と地 、天 使たち、 言者たち、道 、天 などについて いていることを しました。それらの言 は、まるで私を深い眠りから呼び ました 烈な でした。私はそのことをチ ムリ ダ に に え、マリア、ヨセフ、そしてイエス キリストの宗教が何だったのか ねました。彼はその に返答する代わりに、私がもうフェルナンデス氏とは会ってはならないこと、そうでなければ破 されるという警告を受けたのです。チ ムリ ダ の反 は、イスラ ムとは何なのかという に私を突き かしました。そしてセブンスデ アドベンチストという信仰に する疑念を私に植え んだのです。

私の信仰が本当に真 なのであれば、 の宗教と わることを怖れるべきではないはずなのです。

私は彼の警告を しました。私はフェルナンデス氏を再度 すると、彼は私に ねました。

「あなたがたセブンスデ アドベンチストたちがそうするように、ヨセフ、マリア、12使徒たちはイエスを神として崇めていたのでしょうか？」私は言 を することができませんでした。私はザンボアンガ市の支部に り、チ ムリ ダ と を交わしました。その 突の直 に、私は直ちに荷物をまとめて立ち去るよう命令されました。そのときは、自分がムスリムであることを受け入れることはできませんでした。チ ムリ ダ を始めグル プの全 は私にムスリムの烙印を押し、私がもうコミュニティにおける任 をこなすことができなくなると主 しました。 と混乱と共に、私はSDAの同僚を去ることを余 なくされました。このことが私によりイスラ ムのことを べさせ、数ヶ月 の1981年9月、バシラン

州イザベラでムスリムに改宗するタ ニングポイントとなりました。

私は考えました。ムスリム世界の中心は中 です。西洋と 洋が 言者たちの人生、特にイエス キリストのそれを知るのであれば、 言者たちの生まれ故 であり、アブラハム（神の慈悲と祝福あれ）によって建 された神の を し、ムスリムたちが祈りを捧げる土地である中 ではどうなのでしょう？

世界中には20 人に そうというムスリムたちがおり、他のどの宗教よりも人々は日タイスラ ムへ改宗しています。なぜなのでしょう？

この 向は中 の 史、そして最 の 言者の人生について私を べさせました。

## ムスリムたちによる神への信仰

私は既述されたことも含め、ムスリムたちが神を信じているという事 を全く知りませんでした。私が以前信じていたことは、ムスリムたちが地 に落ちる 命にあるということだけでした。一部の非ムスリムたちは、ムスリムを 展 国 平和社会にとっての 威的な、ドブネズミのような存在であるとみなします。これが、一部 国が 的に民族 化を遂行し、ムスリムたちから人 を っている理由なのかも知れません。そうした国家 模の虐 は、ボスニア、コソボ、カシミ ル、チェチェン、ミンダナオ 、そして本来はパレスチナ人たちに属するはずのイスラエル占 下の土地でも行われています。私の故 には、次のような有名な格言があります。「良いムスリムとは、死んだムスリムである。」

私がイスラ ムを受け入れたのは、イスラ ムこそが神によって 定され、 言者たちに受けがれた、人生における真の道（宗教）であること、そしてクルア ンこそが唯一改ざんのない完全なる神の であることを知ったからです。私は非ムスリムたちに して、クルア ンと真正の 承を通してイスラ ムを知ってもらうよう えかけています。

## 悲しい 状

私がこの 事を いている 在、フィリピンの人口は9,500万人に しており、その中でムスリム人口は10%に ぎません。これは、8,000万人以上が非ムスリムで、それら非ムスリム

の大半はキリスト教徒です。フィリピンにおけるイスラ ム宣教者の大半は、生活のためムスリムのアラブ 国に出稼ぎに出てしまいます。もしもアラブ人ムスリムの同胞たちがイスラ ムの教えの 播に本 なのであれば、なぜ彼らはフィリピン人たちを援助し、イスラ ム宣教のために送り返さないのでしょうか？

サウジアラビアでのイスラ ム改宗者たちの90%はフィリピン人です。フィリピン人の元来の文化と はイスラ ムに根ざしているため、フィリピン人たちにとってイスラ ムを理解することは容易です。 史的に ると、フィリピンにイスラ ムが えられたのは、キリスト教のそれを200年 る1380年です。キリスト教がフィリピンにもたらされたのは1521年の3月16日です。ムスリム人口が少数派に留まったのは、 え ない内 、そして独立 争が、キリスト教徒の 道者たちによって 政支援されていたからです。初期のキリスト教徒たちがキリスト教を受け入れたのは、彼らがキリスト教そのものを理解し、受け入れたからではありません。彼らはスペイン人キリスト教徒たちによって持ち まれた や 大 によって 制的に改宗されられたのです。

人的に、キリスト教徒たちへイスラ ムを 播することは取り みがいのある みであると感じています。私はSDAの活 的な 道者だったという背景から、公私にわたってイスラ ムを 播することにおいても情 を持っています。アルハムドゥリッラ 。私は光が暗 を照らすためのものであると く信じています。同 に、非ムスリムたちはその光を目の当たりにし、真理を受け入れるためにイスラ ムを必要としているのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1927>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。